科目名：病態と治療論Ⅴ	必修	1単位(45時間)
(Internal Medicine Ⅴ)		

履修年次/時期：1年次 後期　　授業形態：講義

主担当教員：眞田 英子

主担当教員詳細：

担当教員名：長谷 徹、劉 彦君、外部講師

学修目的	臨床における歯・口腔から消化器における主要な疾患の特性(病態、症状、診断、治療)を学ぶ。疾病から治療を経て回復に至る過程や疾病による健康阻害と保健について理解する。 関連するCP：CP3,CP6　　科目No. KSI-122		
この科目が目的としているDP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	－
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	－
		(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	－
		(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP		
到達目標	1.口腔疾患(歯周病を含む)の原因と誘因、治療について理解できる。 2. インプラント治療について説明できる。 3. 歯・口腔の疾患と消化器への影響が理解できる。 4. 消化管の機能と症状の関連が理解できる。 5.消化管疾患の治療と検査の必要性が理解できる。 6.消化管疾患の治療法とリハビリテーションが理解できる。 7.ストーマケアの必要性が理解できる。 8.肝臓の機能と症状の関連が理解できる。 9.肝臓疾患の治療と検査の必要性が理解できる。 10.肝臓疾患の治療法とリハビリテーションが利器できる。		
授業概要	疾患の原因/症状/診断/検査/治療を学ぶ。消化器/歯・口腔の疾患を学ぶ。臨床判断能力を大切にした観察、アセスメント、看護に活かせるよう思考の連続性を意識して学ぶ。		
評価方法	後期定期試験100% 試験に対するフィードバックは翌年の老年看護学援助論Ⅰの中で行う。		
予習・復習時間	【予習】1.9時間 【復習】1.9時間		
教科書	a.看護学講座 成人看護学15 歯・口腔 医学書院 b.看護学講座 成人看護学5 消化器 医学書院		
参考書	授業内で随時紹介する。		
オフィスアワー連絡先	長谷 徹 4号館2階研究室 劉 彦君 3号館2階研究室 眞田英子 sanada@kdu.ac.jp 不在時はメールでの連絡をお願いします		

実施回	第1回	実施日	2026/11/05 (木)	時限	3	班	
授業計画	1. 歯・口腔の疾患 ①歯・口腔疾患の症状が理解できる。 ②歯周病の病態生理と身体への影響、健康障害について理解できる。	予習	教科書a.P2～3を読み、どのような歯・口腔の疾患があり、患者がどのような苦痛があるのかを考えてくる。				
		復習	授業内容を整理し、理解を深める。				
		キーワード	口腔症状、齲歯、歯肉炎、歯髄疾患				
授業形態	講義	担当	長谷				

実施回	第3回	実施日	2026/11/05 (木)	時限	4	班	
授業計画	3. 顎口腔機能障害 ①顎口腔機能の障害の検査と診断が理解できる。 ②顎口腔機能障害の症状と治療が理解できる。 ③歯と顎骨の外傷に対する治療の概要が理解できる。	予習	教科書a.P39～44のB顎口腔機能障害を読んでおく。				
		復習	授業内容を整理し、理解を深める。				
		キーワード	睡眠時無呼吸症候群、咀嚼障害、顎骨骨折				
授業形態	講義	担当	劉				

実施回	第2回	実施日	2026/11/13 (金)	時限	3	班	
授業計画	2. 歯・口腔疾患の検査と治療 ①歯・口腔疾患の診断と検査の関連性が理解できる。 ②歯・口腔疾患の症状と治療の関連性が理解できる。	予習	教科書a.P47～61のB検査を読み歯・口腔疾患の診断に必要な検査の種類を確認しておく。				
		復習	授業内容を整理し、理解を深める。				
		キーワード	口内法X線撮影、パノラマX線撮影、プラークコントロール、抜歯、掻把、埋伏抜歯、補綴治療、インプラント				
授業形態	講義	担当	長谷				

実施回	第4回	実施日	2026/11/19 (木)	時限	1	班	
授業計画	4. 歯の形成・発育異常 ①歯の形成・発育異常の症状と治療が理解できる。 ②矯正歯科治療の必要性と概要が理解できる。 ③口腔領域の先天異常および発育異常の症状と治療の概要が理解できる。	予習	教科書a.P95～96の③歯の形成・発育異常を読んでおく。				
		復習	授業内容を整理し、理解を深める。				
		キーワード	萌出異常、不正咬合、矯正歯科治療				
授業形態	講義	担当	劉				

実施回	第5回	実施日	2026/11/27 (金)	時限	1	班	
授業計画	5. 消化器の機能と症状 ①消化器の機能と症状の関連が理解できる。 ②消化器疾患の病態生理が理解できる。 ③消化器疾患の症状と検査の関連が理解できる。	予習	教科書b.P6～10のA医療の動向と看護を読んでおく。				
		復習	授業内容を整理し、理解を深める。				
		キーワード	ERAS、消化管と肝臓・膵臓、腹水、黄疸				
授業形態	講義	担当	井上				

実施回	第6回	実施日	2026/11/27 (金)	時限	3	班	
授業計画	6. 消化管の疾患 ①化管疾患の内科的治療が理解できる。 ②消化管疾患の外科的治療が理解できる。 ③ストーマケアの必要性が理解できる。	予習	教科書b.P68～74のA診察と診断の流れを読んでおく。				
		復習	授業内容を整理し、理解を深める。				
		キーワード	直腸指診、反跳痛、マックバーニー圧痛点、内視鏡検査、栄養療法、胃瘻(PEG)、胃X線検査(胃バリウム検査)、ビルロートⅠⅡ法、ダンピング症候群、イレウス、虫垂炎、ヘルニア				
授業形態	講義	担当	井上				

実施回	第7回	実施日	2026/12/04 (金)	時限	1	班	
授業計画	7. 肝臓・胆道系・膵臓の機能と症状 ①肝臓・胆道系・膵臓の機能と症状の関連が理解できる。 ②肝臓・胆道系・膵臓の疾患と検査の関連が理解できる。	予習	教科書b.P31～36のE肝臓の構造と機能を読んでおく。				
		復習	授業内容を整理し、理解を深める。				

		キーワード	門脈域、ビリルビン代謝、ファーター乳頭、ランゲルハンス島、腹水、肝性脳症、
授業形態	講義	担当	井上

実 施 回	第8回	実 施 日	2026/12/04 (金)	時限	3	班	
授業計画	8. 肝臓・胆道系・膵臓の疾患 ①肝臓・胆道系・膵臓疾患の診察と症状について理解する。 ②肝臓・胆道系・膵臓疾患の治療法の概要が理解できる。	予　習	教科書b.P77～83の②肝機能検査を読んでおく。				
		復　習	授業内容を整理し、理解を深める。				
		キーワード	肝生検、肝炎ウィルス、肝硬変症、肝臓がん、胆石症、膵炎、膵臓がん				
授業形態	講義	担当	井上				